

正多面性（プラトン立体）は均整のとれた完璧な立体とされる。それを多様な面から構成された完璧な立方体と解釈する。よって古代ギリシャ人は「神がつくったもの」と考えていた。正多面体・太陽 \parallel 神がつくったもの \parallel 生命と捉えた。

このデザインの正多面性は神からの贈りものである生命を大きく表している。より詳しいイメージは、

「神から授かったその姿の核の部分、もしくは未だ秘められた可能性」

水面にこれが落ちるといふ動きは「きっかけ」を表す。

そして波紋の広がりはきっかけによる変化（一面が開く）や太陽系に向けた可能性の広がりを表す。

本来の姿を認めた時、人間は大きな変化を感じる

